

## ルカの福音書 第1章 24～25節

「その後、妻エリザベツはみごもり、5ヶ月の間引きこもって、こう言った。『主は、人中で私の恥を取り除こうと心にかけて、今、私をこのようにしてくださった。』」

喜び楽しみのクリスマスの前ぶれは不思議な出来事が起こった。御子イエスの誕生に先駆け、エリザベツの身に起こったことは彼女自身、そして夫ザカリヤにとっても驚きであった。夫婦はすでに高齢となり、二人の間には子どもはいなかった。これから子どもが与えられるような年齢ではもはやなかった。当時子を与えられないこと、世継ぎを与えられない女性は人中で恥とみなされていた。この恥を忍ぶ妻を見守るザカリヤにとってもこころ痛むことであったと想像する。

この超高齢者夫婦に子どもが与えられる。妻がみごもり5ヶ月過ぎ、その間家にひきこもっていた。せつかく与えられた子どもを大事に見守るためでしょうか、世間からの目を気にしてでしょうか。当人にしかわからない不思議な出来事を引きこもり見守ったでしょう。そこで見いだすのは、「主は、私をこのようにしてくださった。」喜びの賛歌である。

クリスマスのまえぶれは老夫婦にとって驚きの出来事です。世界にとって驚くべき出来事です。驚きとともに歌となる出来事です。

2023年11月15日